

大分経理専門学校 青春メッセージ

第一線で活躍する先輩たち

永山 佳歩さん(20)

短大併修科平成30年3月卒業＝大分雄城台高校卒＝

イデア総研税理士法人(大分市)

学んだ知識生かし将来を描く

「早く社会に出て働きたい」と大分経理専門学校に進んだ。税理士事務所で顧客の会社の成長をサポートする仕事に就いて3ヶ月たつが、専門学校で2年間学んだ知識を生かしながら、しっかりと将来を語る姿には充実感があふれている。

実務に結び付く思考力

大分雄城台高校時代は陸上部で、短距離種目でインターハイに出場した。日々の練習は厳しかったが、思い出深いものだった。個人競技だが、みんなで困難を乗り越えるチームワークや、礼儀などを学んだという。

進学校だったこともあり大学進学も考えたが、「専門学校で学んで早く就職したい」と思うようになった。社会に出たときに役立つことを学ぼうと、就職先が豊富な大分経理専門学校を進学先に選んだ。

短大併修科は少人数制でアットホームな雰囲気だった。一つの課題についてディスカッションを行うグループワークを多くした。経営実践の授業ではグループごとに会社運営の実務のシミュレーションも経験。実際に子ども20人を対象に、子ども工作教室を運営した。参加費を集め、自分たちで仕入れたプリンカップを使った風鈴

などを作った。どうしたら集客できるか、経費を削減できるかに挑戦。実務に結び付く思考力を鍛えることができた。

日商簿記2級など多くの資格を取得。「自分なりの勉強法を見つけたり、友達と教え合いながら学びました。資格を就職後の実務に生かせる点も専門学校の魅力です」

「縁の下の力持ちに」

就職したイデア総研税理士法人は県内トップクラスの規模の税理士事務所。現在は法人税申告書作成などの仕事をしている。「若くて活気があって、女性が多く活躍しています。『お客様の繁栄を実現する』という企業理念にも惹かれました」。

「どんな業種でも、悩んでいるお客さまをサポートできるようになりたい」と話す。将来、税理士になるために一つ一つ資格にチャレンジしていく。専門学校で学んだ知識を深掘りし企業の「縁の下の力持ち」を目指す。



南徳行代表(左)と永山さん

～未来の後輩へ～

専門学校で学んだことは、いつか自分の糧になります。税法を学べる学校は大分では少なく、税理士事務所を目指す人には役立ちます。先生も就職などで親身になってくれます。勉強漬けの2年間でしたが、無駄がなく充実していました。